

第4回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
もんぜんぷら座在り方検討部会 議事録

日時：平成30年1月31日（水）

午後1時30分～午後3時35分

場所：もんぜんぷら座3階 304会議室

出席委員：22名

岩野彰委員、金澤玲子委員、清水秀幸委員、西堀真二郎委員、柳瀬亮太委員、勝田貴子委員、轟直希委員、湯本泉委員、横田悦二郎委員、青木武雄委員、青木茂委員、塚田篤雄委員、太田耕一委員、宮島文子委員、西澤清文委員、山浦直人委員、落合勤委員、川北泰伸委員、西沢浩委員、大日方薫委員、山田雅之委員、乙部正長委員

欠席委員：0名

1 開会

2 部会長あいさつ

3 資料説明

(1) 市民アンケート クロス集計について

<資料1-2> (説明者：事務局)

(2) 利用者アンケート結果まとめについて

<資料1-1, 3> (説明者：事務局)

(3) 関係計画における中心市街地等の位置付けについて

<資料2> (説明者：事務局)

(4) 第3回部会における意見の分類について

<資料3> (説明者：事務局)

(5) 中心市街地活性化事業図について

<資料4> (説明者：事務局)

4 議事

発言者	発言内容
議長	前回の部会では新田町交差点の機能をどうしていくかという意見が多かったので、本日はもんぜんぷら座の在り方とともに、新田町交差点の在り方やコンセプトというところを集中的に話してもらえればと思う。 事務局から説明があった資料の内容についても、質問があればお願いしたい。
委員G	資料1のクロス集計について、6番の利用頻度の数字が徒歩・自転車は70、電車・バス・その他は75でないと計算が合わない。利用頻度が高い人ほど徒歩又は自転車、利用頻度が低い人ほど自家用車というところは合っていると思うが。
事務局	徒歩・自転車は70で、電車・バス・その他は75が正しい。単純な計算ミスで申し訳なかった。
委員G	資料4について、新田町から長野駅方面、長野駅からバスターミナルにかけても県道から市道になることを踏まえた情報を入れた方がいい。その方が新田町交差点を中心とした青い点線の中の機能や役割について、大事な意見が出やすい。
事務局	中央通りの県道から市道に変わる部分は、中央通り歩行者優先道路化事業（Ⅱ期）

	<p>として長野市で事業を行う。</p> <p>大門交差点よりも北側は県道だった時代に県で美装化し、中央通り歩行者優先道路化事業のⅠ期は新田町交差点から大門交差点に向けて行ったので、それに引き続いて行っていくという意味で一つの事業として位置付けている。</p>
委員H	<p>資料1の利用者アンケートについて、実施期間の記載はあるが、時間帯はどうなっているか。</p>
事務局	<p>時間帯で大きく利用者層が変わる施設はTOMATO食品館と学習コーナーだと予測して、TOMATO食品館については、10時から12時の間、14時から16時の間、18時から20時の間と3つの時間帯に区分して同数サンプリングした。</p> <p>その中で空いた時間に学習コーナーでサンプリングしたもので、大体一日の中で平準化されている。</p>
委員H	<p>3つの時間帯の違いのようなものはあったか。</p>
事務局	<p>TOMATO食品館は昼になると近隣に勤める人が昼食を買いに来るようだが、混雑時に迷惑をかけてもいけないのでその時間帯は外している。</p> <p>18時から20時の時間帯には仕事帰りの男性が多くなり、高齢者が少し減ってくるという傾向はあったと思う。</p>
委員H	<p>資料4について、地図上に緑色の囲みがあるが、これは長野市のコンセプトとして位置付けられているということか。それとも特徴を整理して表しただけなのか。</p>
事務局	<p>特に3つのパートに分けてまちを考えるというような公式な計画等はない。部会で検討する際の共有イメージ図として出した。</p>
委員J	<p>資料2について、都市計画マスタープランが大きな考え方の土台になるのかと思ったが、長野市全体にとって役に立つように考えましょうという位置付けなのか、エリアがいくつかある中の長野駅周辺にとって役立つようにしようということなのか分かりづらい。</p> <p>議題では新田町交差点にスポットが当たっているが、市町村合併をして地域も広くなったことも踏まえて、もんぜんぷら座をどうしていくか考えた方がいいのか、あまり気にしなくていいのか。</p>
事務局	<p>都市計画マスタープランは中心市街地でもんぜんぷら座をどうすれば有益かという考え方なので、どのようにしていけば中心市街地全体が良くなるのかを議論してほしいが、一方で、もんぜんぷら座の位置は周りの地域の方を含めて十分認識していることも分かったので、それを全く無視した議論はできない。</p> <p>併せて、市外から来た人にどんな施設が良くて、整備することで長野市全域にどんな良い影響を与えられるかも考えるということで、中心市街地の真ん中をどういうコンセプトでどうしたらいいかということ議論してもらえればと思う。</p>
委員B	<p>長野市の中心市街地が将来どうあるべきか、ということ煮詰めていけば、必然的に新田町交差点の位置付けが見えてくる。</p> <p>具体的には、資料4で文化芸術と仕分けされている辺りは善光寺を軸とした宗教文化で、新美術館も観光資源として考えれば、文化芸術ゾーンだということは明らかだと思う。それと同時に長野駅周辺から東口にかけての長野駅周辺はまさに商業の拠点となっていて、難しいのがこの新田町交差点周辺の立ち位置ということになる。</p>

	<p>文化芸術ゾーンと商業ゾーンとをつなぐ架け橋が新田町交差点であるだけに、大きな色合いを持つ二つに挟まれているここはどうあるべきなのかということ議論していけば、必然的にもんぜんぷら座がどうあるべきか、という方向も見えてくるのではないかと思う。</p>
委員J	<p>資料2について、住民自治のような観点は、もんぜんぷら座を検討する時とか、関連計画の位置付けの中に入っているのか。</p> <p>また、長野市にとっての課題や中心市街地の課題で、既存資産でアプローチできているものとできていないものをそれぞれ教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>住民自治に関して中心市街地に特化した計画は今のところ把握していない。</p> <p>上位計画が策定されている中で現状把握をして、解決すべき課題を設定して、目標を定めて、方策あるいは具体的な施策を設定していくという順序になるので、中心市街地活性化プランの中にはいくつか載せてあり、人口は増えてはいるが高齢化が進んでいるとか、小売事業の継承が難しくなっているとかといった課題は把握している。</p> <p>また商工業とか観光振興でも滞在時間が短いなどの課題が指摘されていて、しっかり把握できたところで資料として提示したい。</p>
事務局	<p>若干補足すると、もんぜんぷら座は年間80万人くらいの市民が利用している。広域的な施設の利用者が約30万人、T O M A T O 食品館が約50万人で、こういった使われ方が現状の機能だと思う。</p> <p>その他広域的なものとして、対角線にある生涯学習センター、いわゆるT O i G O にもそういった機能がある。1～2階には過去商業施設が入っていたが、テナント料等も含めた問題から空きスペースもあって厳しい状況である。</p> <p>その状況を含めながら、若い人が東京などから故郷に戻ってきてもらえるようなことをしていきたい。そのために東京の企業にサテライトオフィスの的に来てもらったり、働く場を提供する企業とも連携したりしていきたい。</p> <p>併せて、外国から観光客も来ている。もんぜんぷら座にも長野市ガイド協会があるので、今後外国人が増えていくという部分でも、そういう機能を充実していく必要があるのではないか。近くにはS B C という情報発信として重要な要素もある。</p> <p>また、市長は生涯寿命100歳を目指そうということも言っており、健康も非常に重要なものとしている。それをここに持ってくるということではなくて、長野市の目指す大きな目標というのはそういうことだと、参考にしてもらえればと思う。</p>
委員E	<p>生涯学習センターが厳しい状況だという話だが、T O i G O ができる時にも良い施設にしようと知恵を絞って造ったはずなのに、何年か経って今なぜ厳しい状況にあるのかを分析したことはあるのか。知恵を出して新しいものを作っても、それがまた厳しい状況にならないように、生涯学習センターの状況も分析する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>市の施設である生涯学習センターは、土日も含め人は入っていると思うが、商業テナントが苦戦を強いられているという意味で発言した。これには複合的な要素があるのではないかと考えていて、端的にどうすればいいと言うのは難しい。</p>
委員E	<p>気になった点として、新田町交差点に望まれるコンセプトは誰が望んでいるのかによって変わってくると思う。資料1の利用者アンケート問4の利用する理由を見ると</p>

	<p>「ここしかない」というのが二番目に挙がっているが、これが前向きなものなのか。恐らく否定的な方も中にはいると思う。</p> <p>近隣の方たちはここが無くなってしまったらどうするのかと思う。長野市全体で考えることも大事だとは思いますが、住民が望むコンセプトは違っていて、それが対立するような場合はどうすればいいのかということを感じた。</p>
委員B	<p>都市計画法やまち・ひと・しごと総合戦略や第五次総合計画や都市マスタープランや立地適正化計画など色々ある中で、この新田町交差点周辺は都市機能誘導区域とされ、基本的に役割は決まっている。</p> <p>都市機能誘導区域の中には、前提として歩いて暮らせるまちという大きな定義がある。これから超高齢化という時代を迎えた時に、いかにして中心市街地に定住者を増やして、なおかつ歩いて暮らせる機能を集約するかということになってきた時に、今の意見はすごく大事なことである。</p> <p>今日の日本経済新聞にあるが、CNNがまとめた「世界の訪れたい都市18選」という中に、日本で唯一長野県が入っている。しかしながら非常に残念なことに、山ノ内町、白馬村、松本城の三点だけで、長野市がなぜ入っていないかということ、市の歴史としてあまりにも善光寺に依存しすぎてきたということが書いてある。</p> <p>そういう意味で、歩いて暮らせるまちを今後どうしていくかと考えた時に、もんぜんぷら座の在りようのヒントが隠れていると思う。</p>
委員F	<p>資料1の利用者アンケートの結果で驚いたのが、問5で利用上の不満が無いという方が非常に多いこと。中心市街地であれば駐車場の問題はどこでも発生するので、駐車場に関する不満も仮に無いとして考えると、約8割の人が現状に満足しているという結果になる。中心市街地に8割の人が満足している施設はそう無いと思う。</p> <p>そうすると地区としての位置付けが明確になっている中で、もんぜんぷら座が何を担うのかしっかり考えていかなければならないということと、その担うものは誰がその役割を果たすのか、というところも重要な視点だと思う。</p> <p>また、地区内の直近の課題も色々ある。中央通り歩行者優先道路化との調和をどう考えるのかとか、県立大学寮との連携とか、セントラルスクウェアとの兼ね合いとか、それから10年20年後には恐らく市立図書館も何とかしなければならない可能性がある。それについてその時に議論すればいいのか、それとも今広域拠点の中にある資源・施設というものを再度しっかり整理して、将来どんなことが想定されるのかということも含めて、このもんぜんぷら座をどう活かしていくのかということ整理していく必要があるのではないと思う。</p>
委員T	<p>中心市街地に多くの人に歩いてほしいと考えた時には、もんぜんぷら座だけでなくまち全体の問題になると思う。まち全体となると商業との兼ね合いがあると思うが、商工会議所との連携について長野市から働き掛けをしているのか、あるいは逆に商工会議所から具体的な働き掛けはあったのか。</p>
議長	<p>商工会議所の代表者が私なので、議長という立場であるがお答えする。</p> <p>商工会議所としてもやはりこの地区は大事な場所だと考えてはいる。もんぜんぷら座をどうしたらいいだろうという思いも我々の中にはある。</p> <p>長野市の方でも商工会議所あるいは経済四団体と呼ばれるところとの連携が必要</p>

	<p>だと考えて、部会員として私をご推挙いただいたのだと思う。商工会議所からこれだという提言は特に無いが、少なくとも長野市と商工会議所は連携している。</p>
委員T	<p>もんぜんぷら座単体で考えた時には、長野市の核施設として公益性のある事業を集約すると同時に、商業施設でもあるので商業についてもTOMATO食品館を少しでも長く続けていけるような収益事業にするにはどうしたらいいか考えてビルを維持していくことが必要だと思う。</p> <p>商工会議所便りで市長が「経済諸団体と連携をした上で長野駅から善光寺まで歩いて楽しめる歩行者優先のまちづくりをします。セントラルスクウェアも含め、もんぜんぷら座についても市民の皆さんのご意見をお聴きしながら進めて行きます。」と明言している。その上でどこまで連携していくかという話になると思う。</p>
議長	<p>中心市街地にあるこの地区という意味では、商工会議所に限らず何度も議論されてきた場所だと思う。この場所に住んでいる人の想いもあれば他の地域出身者もいる。市民としてこの場所はこうあってほしいという想いは様々だ。</p> <p>部会話を頂いた時に、この建物だけで考えるのであれば、建て替えて何か造るとい話になると思うが、長野市全体を考えた時には時間をかけて集中して議論していかないと同じことになってしまうのではないかと思っていた。</p> <p>部会の進め方についても事務局と何度も話し合っているが、どうしたらいいか悩んでいる。何か素晴らしい意見が出て、皆さんでああいいねと決められればいいだろうが、まだそれぞれの想いが異なっているところがある。</p> <p>個人的にこの場所というのは、子供の頃に丸光百貨店と丸善百貨店があり、本当にまちの中心だったので、もう一度夢のある場所に戻ってほしいというのがある。そういったことはかなり前から議論をし、商工会議所の中でも喋ることはあっても、それが具体化しない。でも議論はしているので、ここから良い意見が出てくれば、あるいは活性化協議会や評価専門委員会で良い意見が出て、もう一步進めばいいと思う。県立大の寮ができて、セントラルスクウェアも市で借りることになったこの機会にやらなければもう駄目だという気はしている。</p>
委員T	<p>以前に新田町交差点の癌は銀行だという発言があったが、交差点の活性化のために何らかのアクションを起こしてもらえればと思う。解体して銀行機能は一部に集約して居住棟を造るといったことを一時期は考えていた、あるいはそういう構想に乗りそうだった時もあるだが機会を逸してしまった中で、今回商工会議所の力も加われば銀行も動くのではないかと思っている。</p> <p>商工会議所の力をもって銀行にお願いする、解体して銀行機能を維持しながら開発していくということも含めた時にもんぜんぷら座がどう機能していくかということを考えるのも一手かと思う。</p>
委員B	<p>色々意見が出ている中でいかにして温度差無く、居住する人とそこを目指す人が一つの目線になってまちづくりを捉えるかどうかが成功裏に終わるキーポイントになると思う。行政でなければできないこと、商工会議所でなければできないことを加味しながら考えるというのは大切だと思う。</p> <p>この検討部会は3月末で一つの節を迎えるが、大きなビジョンとして新田町周辺をどう位置付けていくのかという議論は、かなり長い時間が必要になると思う。もんぜ</p>

	<p>んぷら座自体をどうしていくかということと、まちというものがどうあるべきかということが混在した意見交換がされているので、整理していかなければならない。</p> <p>ただ、一時は大きな定住人口をかかえたまちが、栄華の時期が過ぎて、なぜこういう状況になってしまったのかを見てきた生き証人の方も何人かいるので、そういう考え方も聴いてみたい。</p>
委員M	<p>第四地区の人口が一番多かったのが昭和25年で、1万人を超えていた。現在は2,600人くらいで、過疎化が進んだ一番ひどい地域になっている。なぜこうなってしまったかは簡単で、長野市が何も手掛けず、成り行きでいたからだ。新田町は2～3年前に30人ほど増えた。これはケアハウスができて老人が増えたから。来年は西後町が増える。これは県立大学の寮ができるから。長野駅前の末広町は一人も住民がいない。</p> <p>利用者アンケートで「ここしかない」から来ているとあったが、食べ物を買う所はここしか無い。ここが無くなると、イトーヨーカドーまで歩いて行かないといけない。バスの便もだが、老人は車も乗れない。</p> <p>都市というのは空洞化していくのが常だが、新田町も同じで、善光寺の方の観光地と駅前の方の飲食街で二分されて、ちょうど空洞地帯になって一番落ち込んでいる。このままいくと末広町と一緒に人がいないまちになってしまう。</p>
委員O	<p>新田町は江戸末期にできて、大正時代は2,200人くらいいたが、今は220人くらい。ここに来る人たちは喜んで通ってくるのではなく、困って来ている人が多い。物が高くてサービスが悪くても、近くて歩いて来られるということだけで。高級な商品を買わず、地域で安い買物だけするような年寄りも、TOMATO食品館が無くなってしまふことを心配している。</p> <p>しかし新田町にはまだ文化がある。屋台もあるし、長野市で一、二番目に大きい神輿もあり、何とかすればなるまち。色々皆さん頭の良い意見を言われるが、とにかく今このまちは人を多くして歩いて買い物に行けるようにしてもらいたい。</p> <p>区長としてはマンションに来てもらいたいと思っているが、やはり交差点の角の大企業は動きたくないという反対している。</p>
委員M	<p>地区内の正確な人数をこの間調べたばかりなので、人口だけ補足する。新田町は大正5年が一番多くて2,200人。妻科は昭和30年が一番多くて3,400人。今は妻科が1,100人で、新田町が220人です。隣接した南県町は昭和30年に2,000人だったが、現在は500人。10%20%減とかではなく半減以下だ。</p>
委員O	<p>早めここを何とかしないと、時機を逸すると今のTO i GOみたいになってしまう。だからここはもっと早く、時機を逸しないようにしたい。</p>
委員L	<p>TOMATO食品館は第四地区だが、中央通りの東側は長野駅まで第三地区。第三地区は権堂とその上の田町から始まるが、丘からそこまで降りて来てやっと平らになるので、どんどん下に流れてくる。官庁街が明治の時にできて、その後商店街がその周りにできた。何で商店街ができたかという、長野駅があったというのと、長野電鉄権堂駅ができて人が集まるようになったからで、何か理由がないと町ができていかない。</p> <p>南千歳町は約700戸あるが、実際に住んでいるのは200戸くらいで、昼間来て夜はどこかに行ってしまう。地域の人にに来てもらわないと商店は発達しない。人口減少が展</p>

	<p>開しないようにしたい。それでも最近マンションが二つできて、未入学児が30人来たことで、通学区を山王小から鍋屋田小に変えてもらうといった地域間連携もできるようにはなってきたが、形としてマンションみたいなものを造らないと地域の住民が増えない。</p> <p>商売の方はすごく移り変わりが激しい。店が10年きちんと保てば更にもう少し保つと思うが、3年くらいで代わってしまう方が非常に多い。そういう所が空き家になってしまう。商売される方も、扱うものも変わっていくし、営業形態も変わっていくという中で、商店街を作っていくことが必要ではないかと思っている。</p> <p>地域的には中心市街地の真ん中なので、どういうニーズがあるかというのはあるが、日常生活に必要な食品スーパーみたいなものをうまく配置しながら、個店は違う形で商品を展開していくような仕組みを作っていくと駄目だと思う。</p>
委員Q	<p>話が広がりすぎてよく分からないが、基本的にはこの新田町交差点のコンセプト、どういう地域にしたいのかということが大前提。特にこの部会はもんぜんぷら座の話なので、どういう風にしたいのかというイメージを集約し、耐震補強を含めた改修によってそれが成り立つのか、成り立たないのかを判断しないと話がまとまらないと思う。</p> <p>基本的にはここは市役所・県庁・善光寺・長野駅の交差点なので、テーマは交流とかふれあいというものにした方が良い。県庁もしくは市役所で色々な行政手続きの出張所を持ってきたり、行政サービスを充実させたり、観光客が情報を採れるような拠点にするとか。加えて文化芸術的要素、商業的要素を絡み合わせるというようなある程度のイメージを持って、もんぜんぷら座をどうするのかということを考える必要があると思う。そういう施設を作れるのか、現状で作れるのならば補強を含めて変えていけばいい、だけど現状でできないのであれば建て直すという選択をしていかないとまとまらない。</p>
委員I	<p>資料3で意見を分類したテーマに沿って考えると、場所の位置付けからの検討は、もんぜんぷら座を単体でどうするかということよりも、中心市街地エリアがどうあるべきかという視点で考えなければいけないと思う。このエリアには長野市芸術館とか、長野図書館とか、生涯学習センターとか、権堂イーストプラザ市民交流センターなどがある。県立大学の寮も春にはオープンする。市民アンケートで公園にしたかどうかという話があったが、このエリアの中には既にTO i GO広場、城山公園、上千歳広場、ひまわり公園、南千歳公園がある。更に今のセントラルスクウェアも仮称まちなか広場という位置付けで議論している。このようにこのエリアには非常に多くの公共施設があるので、もんぜんぷら座に多様な市民ニーズを詰め込むのではなくて、このエリアの中にある施設と連携して、まだ足りないものは何だろうという考え方をしたらどうかと思う。費用対効果という視点からも、良い投資ができたり、税金の投入額も抑えたりすることができるのではないかと思う。</p> <p>求められる機能からの検討は、基本的にはコンパクトシティということだと思う。地元の意見として定住人口を増やしてほしいという切実な声があったが、例えば医療とか福祉等の都市機能を誘導する区域、歩いて暮らせるまちといったことが必要ではないかと思う。</p>

施設の利用状況から考えてみると、食品スーパーのニーズが高くて利用者も多いということで、こういった機能や役割は必要ではないかと思う。この施設にあるじゃん・けん・ぼんは非常に魅力的な施設だと考えていて、こういったものも必要なのではないかと思う。

観光運用という話もあるが、まずは市民にとって必要な施設を優先順位の一位に考えたかどうか。先ほど善光寺に依存しすぎたという話があったが、まず市民のための場というものを考えてから、プラスαで観光客を呼び込むという対策、施設として考えてはどうかと思う。

委員D

もんぜんぶら座に関して自分自身は子供を中心に考えてもらいたいと思っている。その理由は、昔はこうだったとか賑わっていたとかという話が子供の頃によく足を運んでいたことならではの考えになっていると思うし、子育て支援施設のようなニーズは支えていかなければいけないと思うから。もう一つの理由は、子供は基本的に歩いてくると思うので、まちに少しでも歩く人が増えるようなイメージになるから。また、子供の時に体験した空間は、大人になっても気になる空間であり続けるように思うので、そういうことも考えの中にも含めるべきというところもある。子供を指標にすると、歩いて暮らせるまちを考える良いヒントになるというところもある。

同時になかなかうまくいかないだろうというところは教育的なところで、今子供だけで歩けないとか、子供が外を歩く時間を制約せざるを得ない社会になっているのがある。そういうことも含めてこの建物が地域の良いお手本になるような、ここだったら安心して来られますという感じになっていくといいと思う。歩いてなんとなくみんなが安心して来られる距離というと、多分1キロくらいがいいところかなと思う。道はわりと整備されていて、暗くて危ないようなところもそんなに無いし、そういうところも含めて考えてもらえればいいと思う。

そうするためにも周辺に住民を増やすということを考えていかなければいけないが、その先をどう考えていくか、住民を増やす目的で集合住宅を建てる時に、どういう人が引っ越してくるか、地元の人にとって望ましい人間なのかどうかというのはよくわからない。やはり地元で溶け込むではないが、地元の活動に参加する仕組みづくりが必要になってくるのではないかと思う。長野市に関わりたい人、中心市街地のお祭りとかに積極的に関わりたい人が、中心市街地を整備することによって本当に引っ越してくるのか。逆に利便性や駅から近いからという理由で引っ越してくる人だと、イメージしている活性化にはならないと思う。そういうところでも子供というのが媒体になるだろうと思うし、今度公園を整備されるということもあるので、それとの繋がりも考えて、ここで全部しようというわけではなくて、ここをハブにして結節点として考えるというのがいいかと思っている。ついては長野市としてどういう仕組みづくりを考えているかというところを聴きたい。

もう一点、資料1の利用者アンケートで、利用上の不満が無い人が多かったとか、予想と反するような回答があったという意見があるが、どういう風に回答してもらったかが気になる。目の前で書いてもらうとなると、そんなにネガティブなことを書きづらいと考えた人もいたと思うし、その辺の実態や感触のようなものを考慮に入れるといいのかなと思う。

事務局	<p>長野市が新たにやっていきたいことや仕組みづくりについては、先ほど中心市街地も過疎地に近いという話が出たが、中山間地についても色々関わっている。人口減少かつ高齢化が進む中で、中山間地の方が急激にコミュニティを維持できない状況が生まれつつある時に、関係性を密に持たせるような形を考えると、ほとんど福祉に近いレベルの手当てをしなければならぬのではないか。例えば公共交通の利便性を確保しなくてはならないとなると、地域で交通の便を確保しながら運営もしてもらおうといった考え方をしないといけない。</p> <p>従って最初から仕組みづくりをこうやるというのはなかなか見つけられないところで、その時々でコミュニティを維持するために、福祉に近いレベルの手当てをしていくことを考えなければいけないのではと思う。長野市としても模索しながらのところがあるので、良いアイデアがあれば逆に教えてもらえればと思う。</p>
事務局	<p>アンケートにどのように答えてもらったかということだが、実際にTOMATO食品館と学習コーナーとスクランブル広場を利用されている方に、職員がアンケート用紙を持って直接お声掛けした。その他に例えば会議室、ホールやBOX、じゃん・けん・ぼんとかの、利用者から予約の確認や鍵の受け渡しが必要といった施設においては、ご用が済んだ後にご協力をお願いした。</p> <p>利用する上の不満はという質問については、アンケート用紙をお示ししながら、どれどれと見ながら、そうね無いわねーというような方が多かったというところ。</p>
委員D	<p>一番聴きたいのはその場で自分が答えた内容がパッと見て確認できたのかということ。封筒に入れるとか折りたたんでということではないということか。</p>
事務局	<p>アンケート用紙を画板にはめて、回答が終わればまた新たな用紙を上にして次の方にご協力お願いできますかといったところ。</p>
議長	<p>会議の予定時間があと僅かということで、一部の委員からは時間を延長してはどうかという話もあったが、次の予定がある方もいるので、時間どおり締めたい。</p>
委員B	<p>この検討部会自体は3月末で一つの方向を出さなくてはならないという使命を得ているので、開催できてもあと2～3回。</p> <p>あと数回で方向を出していくとなると、短期的に解決しないといけない課題は、市の公共施設総合管理計画で、非木造施設のうち新耐震の基準を満たさない建物は、原則長寿命化せずに寿命を50年とするという計画がある。ダイエー時代から引き継いだ経年がもう41年で、このもんぜんぷら座を9年間のうちにどうすればいいか。</p> <p>もう一つ新田町交差点が将来的にどうあるべきかというのが長期的に解決しなければならない課題で、9年を過ぎた後にもんぜんぷら座の敷地と建物をどうするかというのは、もっと長期的に色々な角度から見えないと解決ができないと思う。</p> <p>そういう意味では、この検討会議の課題を、短期的に解決しなければならない課題と、長期的に解決すべき課題との二方向に仕分けすべきではないかということ提案する。</p>
議長	<p>まさしく会議の締めで言わんとしていたことがそのとおりで、委員の皆さんが様々な想いをお持ちだということで、今日は敢えて課題を短期と長期ということで分けずに、もう一度意見をぶつけてもらった。次回からはそれを仕分けして議論し、与えられた使命である3月の結論に持っていきたいと考えている。</p>

<p>今日頂いた意見を事務局と集約していく役も私に与えてもらい、次回はしっかり筋道を立てて議論していけるようにしたいと思うので、委員の皆さんにもそのような心構えで来てもらえればと思う。</p>
--

<p>それから地元から切実なお言葉を頂いた点もしっかり踏まえて、この地域がより良くなるような意見も添付することが大事だと思っているので、その部分も議論していきたいと思う。</p>

5 連絡事項（説明者：事務局）

- 本日の会議も議事録を作成し、資料と共にHPで公表する
- 前回までの資料と議事録は既に市街地整備課のHPに掲載してあるので確認願いたい
- 第5回検討部会は、2月22日(木)午後1時30分から 今回と同じもんぜんぷら座会議室304で開催、資料が整い次第正式に通知する
- 2月3日(土)、4日(日)にもんぜんぷら座で「フェスタもんぷら」が開催される

6 閉会